

避難生活支援

リーダー / サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加
無料

定員あり

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。

災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。

本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材「**避難生活支援リーダー／サポーター**」としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。



研修（避難所運営演習）

日時

1日目：令和8年11月14日（土）10:00～16:00

2日目：令和8年11月15日（日）10:00～16:00

会場

北斗市総合文化センター かなで～る

（〒049-0156 北海道北斗市中野通2丁目13-1）※駐車場あり

持ち物

研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）

実践に
役立つ

どなたでも
参加可能

プログラム

1日目

- ・多様な被災者の心情や状況の理解
- ・避難生活の課題と生活環境の整備

2日目

- ・対人コミュニケーション
- ・避難所運営の担い手との連携・協働



▲研修の詳細内容については、研修紹介動画を御覧ください



この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前に読んでください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。
(約10分～15分×5コマ)

お申込み後、研修テキストとオンデマンド動画の情報をお送りします。



研修講師

※順不同

土居 正明 氏



日本赤十字社 事業局
救護・福祉部 救護課長

岡山県内で災害救護、献血推進、医療事業などに従事、2024年より本社で救護員育成体系整備に携わる。平時は赤十字救急法講師、赤十字防災セミナー指導者、災害時には赤十字救護班要員、日赤災害医療コーディネートチーム、日本DMAT隊員、日赤こころのケア指導者として活動。平成16年台風災害(岡山県)、新潟中越沖地震、東日本大震災、平成28年広島土砂災害、熊本地震、平成30年7月豪雨災害(岡山県)、令和6年能登半島地震などの災害救護活動に従事。

藤井 文香 氏



レスキューストックヤード
ボランティア看護・福祉チーム
日進災害ボランティアコーディネーターの会 代表

東日本大震災時に地元運営のボランティアバスへの参加がきっかけで、日進災害ボランティアコーディネーターの会に入会し活動が続いている。レスキューストックヤードとの繋がりから熊本地震より被災地での支援活動を開始し、毎年のように起こる台風・豪雨や令和6年能登半島地震での災害支援に関わり、ボランティア看護・福祉チームとして活動も続ける。看護師、防災士。

斉藤 容子 氏



関西国際大学 客員教授

大学卒業後、(特活) CODE海外災害援助市民センターでアフガニスタン、イラン、スリランカ等の海外被災地の復興支援に従事。2005年、英国ノーザンブリア大学災害と持続可能な開発コース修士課程修了。国連地域開発センター(UNCRD) 研究員、人と防災未来センター主任研究員等を経て、関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授を務める。現在は関西国際大学客員教授、神戸市防災会議委員(女性部会長)。

篠原 辰二 氏



Wellbe Design 理事長/
北の国災害サポートチーム 代表

地域福祉を担う人・組織を支援することを目的に2012年に一般社団法人 Wellbe Designを設立。北海道を拠点に、地域福祉、災害福祉、防災等に関する実践と人材育成に取り組むほか、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、NPO等への研修・アドバイザー業務を通じて、多職種・多機関連携による地域づくりを支援。災害時には災害ボランティアセンターの運営支援、災害ケースマネジメントの構築にも携わる。北海道医療大学・日本福祉大学非常勤講師。社会福祉士。

須田 考一 氏



北海道DWATチーム員
災害支援ケアマネージャー/
健美会 相談課 課長
生活相談員・介護支援専門員

胆振東部地震をきっかけに災害支援活動を開始。技術系の方々の関りが多くあったため多数の作業免許を取得。その後、災害支援ケアマネージャーや防災士を取得し、北海道DWATチーム員として登録。最近では国際医療NGOへ登録し活動の幅を広げている。胆振東部地震ボランティアセンター開設まで支援、令和元年台風19号水害支援で宮城県丸森町、能登半島支援、直近では令和8年熊本地震支援に従事する。現在は多くの演習に足を運び避難所の環境整備などの知識獲得を重視している。



お申込方法・窓口

締切：10月9日(金)

・申込に関するお問い合わせは、北斗市総務部総務課交通防災係までご連絡ください。

申込は、電話、FAX、メール、申込フォームからお願いします。

電話：0138-73-3111 (212)

申込フォーム

FAX：0138-73-6970

メール：<bosai@city.hokuto.hokkaido.jp>



研修に関する
お問い合わせ先

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー/サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所(担当：小池、有賀、津賀)

TEL：03-5402-5355 MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com

申込フォーム（F A X ・ メール用）

1 お名前

2 ご所属（株式会社〇〇、〇〇自主防災会、〇〇町会等）

3 メールアドレス

セキュリティの関係でメールが届かないことがございますので、可能な限り docomo、au などの携帯キャリアメール以外のアドレスを登録ください。

4 電話番号

5 ご住所（郵便番号含め）

研修の開催前に研修テキストをお送りいたします。

6 オンデマンド動画の視聴方法について

研修受講にあたって、参加者の皆様にはオンデマンド講座の受講（1コマ10～15分程度、合計8コマ）をお願いしており、インターネット環境が必要です。事前に専用ウェブページからの視聴は可能ですか。

※ インターネット環境が整わない方には、個別に視聴方法をご案内します。

☐ 専用W e b ページにて視聴

☐ その他の視聴方法を希望

7 年代（10代以下、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代）

8 性別（男性、女性、その他）

本研修では、多くのグループワークを実施します。

なるべく性別、年代がばらけるようにグループ分けをいたしますので、7、8の回答をお願いします。

9 備考

車椅子を利用する方、視覚が不自由な方等の特別な配慮が必要な方は記入してください。